

2026年2月13日

各位

本店所在地 東京都港区赤坂九丁目7番2号  
 会社名 ネクセラファーマ株式会社  
 (コード番号 4565 東証プライム)  
 代表者 代表執行役社長 CEO  
 クリストファー・カーギル  
 問い合わせ先 IR部 都築伸弥  
 電話番号 03-5962-5718 (代表)

## 2025年12月期連結業績と前期連結業績との差異に関するお知らせ

2025年12月期連結業績（以下、当期連結業績）と、2024年12月期連結業績（以下、前期連結業績）との差異につき、以下の通りお知らせいたします。当社は2025年12月期の連結業績予想を開示していないため、前期連結業績との差異の説明を行うものです。

### 1. 当期連結業績と前期連結業績との差異

	売上収益	営業損益	税引前損益	親会社の所有者に帰属する当期損益
前期連結業績 (A) (百万円)	28,835	△5,423	△4,662	△4,838
当期連結業績 (B) (百万円)	29,615	△8,462	△14,950	△12,530
増減額 (B-A) (百万円)	780	△3,039	△10,288	△7,692
増減率 (%)	2.7%	—	—	—

### 2. 差異の理由

当連結会計年度の売上収益は前期比780百万円増加し、29,615百万円となりました。上市済製品では、ピヴラッツ®が当連結会計年度は前連結会計年度に比べ6.8%増加の13,511百万円、クービビック®が当連結会計年度は前連結会計年度に比べ223.9%増加の4,327百万円と好調に推移しました。一方でマイルストーン収入では達成件数が当連結会計年度7件と前連結会計年度5件に比べて増加したものの、金額ベースでは前連結会計年度と比較して3,278百万円減少しました。

販管費及び一般管理費は経費削減に取り組んだことにより前期比790百万円減少したものの、研究開発費は臨床試験段階のパイプライン、肥満・代謝性疾患領域への研究開発投資の増加、及び円安の影響により、前期比2,650百万円増加したことにより、営業損益は8,462百万円の損失となりました。当連結会計年度は金融費用において社債の条件変更に伴う費用、取得した事業の研究開発進捗に伴う条件付対価評価損を計上したことにより、税引前利益は14,950百万円の損失となりました。親会社の所有者に帰属する当期損益は、12,530百万円の損失となりました。これには繰延税金の計上に伴う税効果益を含んでおります。

以上

## ネクセラファーマについて

ネクセラファーマ株式会社は、テクノロジーに立脚したバイオ医薬品企業であり、日本および世界中のアンメットニーズにお応えし、患者さまの生活の質を向上させる新しいスペシャリティ医薬品をお届けすることを目指しています。

当社は、価値が高く大規模、かつ成長著しい日本および APAC の広範な市場で、複数の上市済み製品をはじめ、画期的な医薬品の開発・販売を行うアジャイルで次世代の商業化ビジネスを展開しています。

当社独自の「NxWave™」創薬プラットフォームを活用して、探索から後期臨床段階にある 30 品目を超えるプログラムからなる幅広いパイプラインの開発を、自社で、あるいは大手製薬企業やバイオ医薬品企業との提携により推進しています。このパイプラインには、ファーストインクラスまたはベストインクラスの候補化合物が含まれ、肥満症・代謝障害、神経疾患・神経精神疾患、免疫疾患・炎症性疾患などの大きく成長する治療分野における主要なアンメットニーズにお応えすることに重点を置いています。

当社は、東京、大阪、ロンドン、ケンブリッジ、バーゼル、ソウルに主要拠点を展開しており、グローバル従業員が活躍しています。

詳しくは、ホームページ [www.nxera.life/jp](http://www.nxera.life/jp) をご覧ください。

LinkedIn: [@NxeraPharma](https://www.linkedin.com/company/nxera-pharma)

X: [@NxeraPharma](https://twitter.com/NxeraPharma)

YouTube: [@NxeraPharma](https://www.youtube.com/channel/UC...)